

繊細なプロの技 触れて学ぶ 小海高生 ものづくりの仕事体験

小海高校（小海町）の2年生82人が6日、ものづくりの魅力を県民に伝える県の「ものづくりマイスター」「ヤングマイスター」を講師に、料理人や美容師などの仕事を学んだ。総合的な学習の授業を利用した取り組みで、進路選択の参考にしてもらう狙い。生徒たちはプロの技術に驚きながら、慣れない手つきでそれぞれの課題に挑戦した。

県が学校や企業などを対象に行うキャリア教育事業「信州ものづくり未来塾」の一環。生徒は事前に選択した「日本料理」「造園」「木工」「美容」「時計組立」の五分野に分かれ、授業を受けた。

美容では「シガ美容室」（長野市）の従業員で、ヤングマイスターの宮坂正浩さん（28）や、原山菜摘さん（25）らが指導。生徒は4～5人ずつの4チームに分かれ、ロットと呼ばれる筒状の道具で髪の毛を巻くワインディングに挑戦した。宮坂さんは「髪がたるまないように、引っ張りながらやって」と助言して回り、うまくいくと「うまいうまい」と声を掛けた。

時計組立で腕時計を組み立てた篠原彬さん（16）＝小海町＝は「細かい部品を付けるのが難しかったが、ものづくりに以前より興味が出てきた」と話していた。



「美容」の体験で、宮坂さん（右）からワインディングの指導を受ける生徒